

新人さんいらっしゃい ～平成最後の入社式とそれから～

平成31年4月1日、平成最後の入社式が、まだまだ寒さの残る中、三好正規理事長・病院長のもとで執り行われました。

平成31年4月に入社された職員12名に、昨年11月から今年3月までに入社された5名を加え、総勢17名が入社式に臨みました。職種も医師をはじめ、看護師、介護福祉士、リハビリ療法士、事務職員など、実にさまざまです。辞令交付の後、参加者全員で記念撮影。それがこの写真です。



2日間の新人研修では、各部署長によるさまざまな講義がありました。法人の基本理念に始まり、就業規則、医療安全、感染防止、個人情報保護、メンタルヘルスなど、どれも大切なことばかり。恒例の理事長訓話では、理事長と新入職員との意見交換があり、新入職員は大いに刺激を受けた様子でした。また、1日目の研修途中、事務部長から新元号は「令和」に決まったと知らされ、新しい時代の到来を感じ、一層気が引き締まる思いでした。



理事長によるユーモアを交えた訓話。若きスタッフにエールを送ります。



2日間の研修を終え、反省会。みなさんそれぞれの思いを語ることで、お互いが良い刺激を受けました。

1日目は緊張もあり、なかなか打ち解けられない様子でしたが、2日目になると、お互いのコミュニケーションもずいぶんと増えました。不安そうだった表情も幾分柔らかくなり、最後の茶話会では「不安だけだったけど、2日間の研修を通してちょっと安心しました。頑張ります。」といった声が聞かれ、担当者としては一安心。「見かけたら声を掛けてくださいね～」と、仲間意識もしっかり芽生えた様子です。最後は配属先の上司が迎えに来て、簡単なオリエンテーションがありました。これで安心ですね。

看護部門では、現場配属の前に、さらに3日間の集合研修を行いました。



あれから1ヵ月・・・

「令和」を迎え、連休が明けた今日この頃、新人さんに廊下で出会って声かけをすると、「やっと周りが見えてきました!」「クタクタですよ～(笑)」「元気でーす!大丈夫です!」など、様々な反応が聞かれました。仕事にはいろいろ大変な面もありますが、トレーニングで自信はつきます。自信がつけば成長も早いです。これからも一緒に協愛会を盛り立てていきましょう!

以上